

共創リーダーシップ プログラムの生徒実践



私たちNOVINKの活動理念と背景

少子高齢化が進み、個々の力が必要とされるこれからの時代において、学生の共創リーダーシップ育成が不可欠であると考えた。そこで、モチベーションの高い学生をより活発化させるという理念を掲げ、主に企業や教育団体と連携して多くの人を巻き込んだイベントを開催する活動を行っている。
グループ名はNOVA(新星)×LINK(つなぐ)に由来し、人と人との繋がりを大切に活動している。



開催イベントの概要とその分析

《東大生と一緒に自分の今と未来を考える》

今までの活動実績の一つであるこちらのイベントに着目して分析を行う。これは10月上旬、東大生による教育団体 i.school と共に日比谷生を対象に開催したイベントである。



1目的

高い志をもって高校に入学したにも関わらず「上には上がいること」へのショックと失望により熱意を喪失してしまった生徒がいると仮定し、それらの生徒が自分の今と未来を見つめ将来像を思い浮かべることができるようイベントを開催したいと考えた。

2方法

東大発のイノベーション教育プログラムにて使われた「エクストリームケース・アプローチ」という思考フレームを使用した。あえて『平均から大きく外れた尖った生き方』をしている人の思考を深掘りし、そこから自分にも当てはまるニーズを引き出すという方法。

3結果・課題

『他人から見た新しい視点が響いた』『自分でも思っていなかった将来像が見えてきて嬉しい』と漠然としていた将来像が確かなものと変わっていくという意見が多かった。その一方で『集客』という課題も残ったため今後の活動に生かしていきたいと考えた

その他活動実績と今後の活動内容

《未来の教育の在り方を世界へ》



9月27日、日経新聞社による日経未来社会共創ゼミに参加し、大阪府立桜和高等学校の生徒と共に未来の教育のあるべき姿について提言を発表。

《8かけ社会とのコラボ企画》 朝日新聞

朝日新聞社様が行っている『8かけ社会』・2040年には人口が今の8割となる中で未来を見据えて今をどのように変えるかというプロジェクトと掛け合わせた企画。3月実施予定。  日本政策金融公庫

《日本政策金融公庫ビジネスグランプリ入賞》

14967人の中から入賞し、1月下旬に東京にて大会出場。失敗を放置せず記録し、「共有」することで失敗の見える化を狙うというプログラムを提案。

《社会課題を考えるハッカソン》



株式会社マイナビ様との3月開催予定の、社会問題についてさまざまな立場から議論するイベント。

《芦屋市に提言》



先進教育と進める芦屋市長の方と直接対話し、対外的アプローチについて提言。3月下旬実施予定。

《未来共創リーダーシップの育成》



通常参加者として参加するミラッジというイベントにファシリテーターとして参加。12月7日実施。

《エンタメからスポーツ産業を考える》



ネイチャーラボ様との企画。バレーボールの試合観戦や物販販売体験で得た経験をまとめて発表。2月から3月にかけて実施予定。